

トルベリーノクロシオ・フットボールクラブ(FC) 理念

“黒潮の恵みを力に、脅威に打ち勝つ強い心を育み、旋風のようなプレーを”

「心で」「技で」「体で」スポーツを楽しめる活動を目指します。

「サッカー・フットサル」を通して、「スポーツの楽しさ」を「心で・技で・体で」「選手」が全力で体感できる環境づくり、そして「家族」の方には、お子様と一緒に「泣いたり」「笑ったり」「悔しがったり」「喜んだり」といろんな感情を共有して、スポーツを楽しんでもらえる活動を目指します。

スポーツができる「喜び」と「感謝」の心を持つ選手に

スポーツができるということに「喜び」と「感謝」を感じる選手になってほしい。

いろいろな理由や状況で、スポーツしたくてもできない人、できない場所、できない状態、日本の中にも世界中でもたくさんあると思います、何気にスポーツができていいる今のこの環境や状況をあたりまえではなく、自分が健康で元気だからこそできるということ、それはなぜか、国や地域社会の環境、家族の協力、まわりのいろいろな人が協力しあって、成り立っているということ、それらを日々の活動の中で、気づく事ができる人間になってほしいと思います。

そして、心から「ありがとう」を伝えられる選手に

JFA の取り組みとして、「リスペクトプロジェクト」があります。味方、相手、審判、指導者、サポーター、役員、用具、施設、ルール等々、関わるものすべての人、そして、「もの」を互いに「大切に思うこと。」それこそが「フェアプレー」の原点ということ。練習できるのはなぜか、試合できるのはなぜか、味方がいてこそ、相手がいてこそできる、さまざまなものや協力があって成り立つということ、そこに「感謝」の心を持つということが「リスペクト」はじまりです。スポーツの場に「敵」はひとりもないのです。みんなが協力してこそできるものそれが「スポーツ」です。試合に勝っても負けても「ありがとう」を心から伝えることができるプレイヤーを目指し、「リスペクト」「フェアプレー」の精神をスポーツ選手として、ひとりの人として、常に考えることができ、体現できる人間になってほしいと思います。

(JFA「リスペクトプロジェクト」より)

「チームプレー」の理解と大切さを

「選手」「指導者」「保護者」ひとつのチームとして

いじめ、仲間はずれ、能力差から出る軋轢があったり、「勝ち」を意識するあまり、保護者、指導者からの暴力、乱暴な言動になどおいて、選手が「楽しめない」「チャレンジできない」それは「スポーツ」ではありません。選手の状態、状況は十人十色、さまざまな個性を持ち、みんな感性も違う中で、ひとつのチームとして競技するということを理解し、その中で「チームプレー」という大切なものを感じ取れる選手になってほしいと思います。保護者、指導者に至っては、誰の為の「サッカー」「スポーツ」なのかということや常に考えること「プレイヤーズファースト」が大切で、プレーの中だけでなく、「選手」「保護者」「指導者」が「ひとつのチーム」として協力しあい「活動」していくことが「チームプレー」であると考えています。

一人一人が「チャレンジできる」「全力」で楽しめるチームに

練習中・試合中において、ミスした選手、あるいは意欲のない選手に対して、選手同士で叱咤する場面もあります、それは本音かもしれませんが、結局、当人同士の連携も悪くなり、お互い冷静さも欠く結果を招きやすくなり、それでは、気持ちよく楽しくサッカーができない状況に陥り、悪循環となる状態が大半です。本音や思いを伝える事は、非常に大事ですが、それらには、方法やタイミングがとても大切になってきます、まず相手を思いやり、相手の状態を理解すること、そして、すべてのプレーを「人のせい」にしないこと、「個人のミス」を「チームのミス（自分達のミス）」として受け入れる意識を持ち、それを修正、カバーする、あるいは次のプレーを考えることが大切です、「ミス」した本人、そしてチームが「次のチャレンジ」へと進んでいけるような状況をチームで作る事が大切です。チームとして盛り上げ、励まし合い、助け合い、切磋琢磨して、一人一人が「チャレンジできる」「全力」で楽しめる環境をチームで作上げていければと思います。それが「チームプレー」の本質であると考えています。

常に「全力プレー」の大切さ スポーツ最大の魅力を「楽しさ」に

「スポーツ」というものは、運動する事だけを指すのではなく、「勝負」という最大の目的にむかって、プレーする事、いわば「勝ち」にむかって、自分の持てる「最大限の力」「技術」を使い、「挑む事」、そして、その結果の「勝ち負け」に「一喜一憂」することこそが、スポーツの最大の魅力であり、「楽しさ」でもあると考えています。それは、とにかく「勝ち」にこだわるという事ではありませんが、「勝った」時は「楽しい」。それは、だれもが思うことで、「負けた」時に「楽しかった」と感じることは、とても少ないと思います。「負けたけど（悔しいけど）楽しかった」そう感じられることは素晴らしい経験です。全力で挑めば挑むほど、負けた時は、「悔しさ」でいっぱいになり、「結果」を見ると、とても楽しいことはないと思います。どうすれば感じられるのか、それは、「結果」で感じるのではなく、チームが一丸となって、同じ目的にむかって一生懸命努力している、その瞬間、その時間、「全力」で挑んでいるその最中に「楽しい」と感じられるはず。それを感じられるようになってほしい。感じられるチームでありたいと思います。

「夢」「希望」そして「情熱」を持てる「心」を 「あきらめない心」

子供達には「夢」や「希望」そして、それらを叶えるための「情熱」を持ってほしいと思います。

「夢」を口にすることが、恥ずかしいようなチームではなく、「夢」に向かってプレー、努力できる、堂々と「夢」を目指せるチームでありたいと思います。それは、「スポーツ」に対するものに限らず、そういう「心」を「育む活動」「育める環境」を目指していきたいと思います。

また、身近なところでも「夢」「希望」を失うような出来事もありましたが、さまざまな人と人との協力や助け合いにより、「絶望」から「希望」へと動き出せるということ、自分自身が「あきらめなければ」また「夢」に近づけるということを学べるチームでありたいと思います。

これから入団をご検討される保護者様へ、ご了承、ご理解頂きたいこと

入団されるかどうかをご検討するにあたり、まず、お子様が自発的に「サッカーがしたい」と思う気持ちが一番大切となります。ジュニア年代は長いスポーツ人生の中でも、気持ちの部分が成長に大きく影響する年代となりますが、この年代で、すべての個の能力や適性、限界が決まる訳ではありませんので、あいつは『ダメだ』とか諦めたり、ポジションの適性や能力の限界を決めつけたりせず、将来を夢見て、時には、そっと背中を押してあげるような応援、温かいお気持ちでお子様の「ベストサポーター」として、見守って頂けるとありがたいです。そして、このスポーツを通じて、お子様と一緒に「泣いたり」「笑ったり」いろいろな感情を共有して、「楽しんで」頂ける事を願っております。

「プレイヤーズファースト（選手優先）」という考え方の解釈として

スポーツには「プレイヤーズファースト（選手優先）」という理念があります。スポーツに携わることにに関して、言葉だけを考えれば、いろいろな解釈があると思いますが、当団体での「選手優先」という考え方として、まず、スポーツするのは、「選手」であるということ。指導者や保護者の方など（以下、関係者）の過度の言いなり、強制でスポーツするのではなく、選手が「自分の意志」で携わり、健全にスポーツを楽しめる環境を整えてあげることが重要です。「選手」が「活動しやすい環境」にするのが、「選手優先」ということでもあります。関係者が活動の「ほとんど」をお膳立てし、選手は活動に参加するだけ、それは「選手の為」ではありません。「参加する為の準備、努力」「参加する意志、目標、目的意識の形成」が「選手自身」で出来るように関係者は「サポート」することが必要と考えます。これは選手の意志や意識や自立心がとても重要という考え方ですが、何でもかんでも選手の考え、行動を優先するという事ではなく、健全なスポーツ活動を楽しむ為に、チーム理念に沿った考えのもと、関係者が対話し、指導することが必要となります。

チームでの指導および指導者について

チーム理念に沿った指導のなかで、ある程度の厳しい指導やペナルティを課す場合もありますが、指導者は、ひとりの人間として、秩序を保ち、大切なお子様の将来に携わっているという立場を自覚し、夢を持ち、情熱を持ち、愛情をもって、子供達と真剣に向き合い指導していきます。保護者の方にはチームとしての考え方をご理解頂き、指導方法や育成方法、メンバー選考、ポジションなどの適性判断については、当団体に「一任」していただけますようお願い致します。しかしながら、人為的な失敗や至らない部分もあるかとは思いますが、改善を重ね、日々勉強しながら取り組んでいきますので、保護者の方にはチームの一員として、温かいお気持ちでサポートおよびご教示をお願い致します。

保護者の方への活動サポートのお願い

チーム活動については、選手、指導者によって運営することを極力行っておりますが、保護者の皆様には、活動をより円滑にする為に、例えば、ビブス(用具)の洗濯をはじめ、レクリエーション活動のお手伝いや選手の送迎の手配、夏場試合での弁当・水分の管理、選手の救護活動などをご協力して頂いております。参加時間や日数、日程についての強制はありませんので、無理をなさらない程度で、出来る限りのサポートをよろしくお願い致します。

トレーニングサポーターの募集・登録について

子供達の活動や練習に参加して、練習の補助、会場の設営などをして頂ける保護者の方やご家族の方を「トレーニングサポーター」というカタチで募集しています。サポーターは、選手に対して、指導や注意を行うのではなく、練習のお手伝いをはじめ、一緒に練習をこなしてあげたり、応援したり、褒めたりしてあげることで、モチベーションの向上を活動目的としますので、男女、運動やサッカー経験などは問いません。参加時間や日数、日程についての強制はありません。都合の付く日程でのサポートをお願いしております。登録をご希望の場合は、代表までご連絡をお願いします。

上記に関わらず、レクリエーションやファミリーデーなど、保護者の方、ご家族の方も参加して楽しんで頂けるイベントを行っておりますので、お子様のため、出来限りの参加をよろしくお願い致します。

保護者の方や観戦に来場される関係者の方へのお願い

練習や試合に、来場される際について、保護者の方にも挨拶など、チーム理念に沿った行動をできる限りお願いしたいと思っております。各練習、試合、それらの会場には、観戦ルールやマナーもございますので、社会的秩序をもとに心がけ頂きたいと思っております。お子様やチームへの応援や声援は、チームやお子様の士気を高める大変ありがたいことですが、気持ちの高ぶりからの度を越えた声援や応援については、逆効果ともなります、審判や相手チームに敬意を欠くことにならないよう、くれぐれもご注意をお願い致します。ルールやマナーなど下記に一部ですが、ある程度まとめております。

保護者の方に特に守って頂きたい会場ルール、観戦マナーについて

練習および大会の会場周辺での駐車マナー、ルールを遵守すること。

食事等は、各会場のルールに従うこと。やたがらすでは、コート・観客席での食事は禁止。

公式戦大会本部(中央)には、緊急の案件以外は、立ち入らないこと。本部前を通らないこと。

試合が行われているゴールの裏およびベンチの裏(コート内)では観戦しないこと。

試合ベンチには、緊急の案件以外は立ち入らないこと。相手ベンチの裏では応援しないこと。

相手チーム、他チームへの批判や中傷、暴言、審判・判定に対する暴言・批判はしないこと。

練習中・試合中の選手に対する指示や注意、暴言・プレー批判はしないこと。

活動中の選手を呼び付けたり、集中を妨げるような大きな声での私語や行動はしないこと。

補償や責任について

練習中・試合中などの選手のケガや体調の管理、熱中症対策など必要な知識を日々勉強しながら、対応に万全を期していますが、それらが起こりうる場合や予期せぬ事象や乗り合わせ移動中の事故などについては、スポーツ安全協会の保険での対応となります。それ以上の補償や団体および指導者個人としては、責任を負う事ができませんので、保護者様の厚いご理解のもと、対応して頂きますよう何卒、お願い申し上げます。

2015年4月1日

トルベリーノ・クロシオFC (フットボールクラブ) 代表 北野 泰宏